



「災害に備えて」

先日、家の近くの送電線の工事の為、地域で停電がありました。事前に数時間程度停電すると電力会社から連絡があり、当日を迎えました。

冷蔵庫はもちろん、お風呂の湯沸かし、地下水をポンプでくみ上げているため水も止まります。トイレも使えません。夜中の数時間ですが不安だらけです。暖房機器も電気を使っているため使えません。庭の照明用のタイマーも止まってしまいました。あたり前に使えている電気ですが使えないと困ることばかりです。

地震や災害でライフラインが使えなくなると生活ができないことが現実になりました。もちろん災害に備えて非常用袋なども準備していますが心もとない感じです。

私たちは普段、何の不自由もなく生活することができています。しかし、災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に使えるはずのものが使えないこともあります。命を守るだけでなく災害後の生活をいかに速やかに立て直すかも課題です。そのために災害に備えて、準備し、自分事として行動できるかどうかです。どこかに「自分は大丈夫だろう」という甘い気持ちが危険察知の意識を薄れさせます。

四国や九州でも地震が頻繁に起きています。南海トラフ巨大地震の30年以内発生確率が80%に引き上げられました。

私たちは今後も災害とどう向き合っていくかが課題です。学校でも子どもたちと避難訓練を行っています。しかし、それは、あくまでも訓練です。災害が起こったときに実際にどのように行動することが良いのかは、発生した時間や場所、状況に応じて判断しなければなりません。そのために一人一人が学習し、正しい行動をとることが必要です。どのように動くことが正しいのかは事前にはわかりません。そのために家族や、身近な人と話し合うことは大切だと思うので

校長 曾我部大地

小学校親善球技大会 (2月5日)

惣開小学校で行われた親善球技大会に、6年1組の児童が参加し、一生懸命プレーをしました。応援の態度もすばらしかったです。

校内代表決定戦、教職員とのサッカー大会、そして、この大会を通して、クラスの絆を深めるなど、勝敗以上の大切なものを得ることができたのではないかと思います。





教育目標 「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」
校 訓 「未来をひらこう」
児 童 像 「考える子」「やさしい子」「がんばる子」
＜金栄小学校HP <http://kinei-e.esnet.ed.jp>＞

なかま集会 (2月20日)

今回のなかま集会のねらいは、人権劇について話し合うことを通して、様々な意見に触れ、自分や友達を大切にしようとする態度を育てることです。日常生活でも起こり得る場面を基に、縦割り班で意見を交流しました。全校合唱では、班のみんなで手をつないで歌いました。優しい温かい空気が体育館全体を包みこむ、とてもすてきな集会になりました。



＜ な か ま 集 会 の 感 想 ＞

- 6年生のおにいちゃんがいっしょにかんがえてくれたからベンキょうになってうれしかったです。
- 仲間はずしに自分がされたいやな気持ちになるので、わたしはそこを気をつけたいなと思いました。にちじょうの中で、他の友だちがきずつかないように、友だちとすごすときは気をつけたいです。
- わたしは、人けんげきを見て、いじわるをしてしまったとき、「やっぱりこんなことをしたらだめなんだ。」って自分でかんがえるといいと思います。これからはみんなにやさしくしたいです。
- わたしは自分にされていやなことを人にしてはいけないのに、ときどきやっちゃうことがあります。これからやさしくしたいなと思いました。
- 遊びを多数決で決めるのはあまりよくないと思いました。多数決は少数派の意見が取りこみにくく、その人たちがかなしむからです。日ごとに遊びを決めるのは良いと思いました。
- 話し合いをして、それぞれの意見や考え方があっていいなと思いました。相手のことをそんちょうしないといけないなと思いました。
- 私はなかま集会で、ふれあい委員会さんや校長先生から大切なことを学びました。今まで私はまわりが見えていたと思っていました。自分のやりたいことをするのは楽でも、それを見たり聞いたりした人はどんな思いをするのかをもっと考えていきます。これからは、行動に移す前に人の気持ちを考えていきたいです。
- 最後の歌で班全員が手をつないで仲が深まったと思いました。